

コートダジュール大学
BESIGN The Sustainable Design School 交換留学
月例報告書 (10 月分)

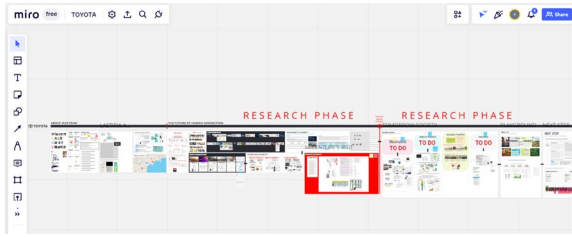
鈴木 梨恵琉

フランスに住み始めて早くも 1 か月。今月は本格的に学校が始まり、半ば慌ただしく過ぎていましたが、毎日日記に書くことがいっぱい生活を過ごさせています。母が応援として購入してくれた赤いスケジュール帳。どうしても 9 月から翌年 7 月までを一冊にまとめたくて、やっと見つけたモレスキンという会社の手帳を、Diary としても使っています。各国の必要情報も載っていて、留学用なのか?!と勘違いするほど構成が良く、少し高価でしたがとても満足しているので、今後の後輩のために紹介を挟みました。留学中は記憶が日々更新されていくので、月例報告書を書く時にも役立っています。



今月は学校生活が始まりました。学校は朝 9 時に集まり、専門学校や短大のように授業は一日みっちり型です。日本は遅れることがあっても、勝手に早まることはないように思いますが、「大半の生徒が次の授業と被っているから明日は 30 分早く来て」なんて話が帰宅してから届くことも。正直なところ被る?!と思いますが、普通のようなので突っ込みません。朝が苦手な私は、心の中で泣いています…。本校は、1 日同じ授業をやり続けることが多いので、大変なのは集中力を保ち続けること。使用言語が英語なのもあり疲労感が結構あります。休憩はランチを含め 3 回。大抵の先生が休憩後のウォーミングアップとして何かを用意しています。体を使ったゲーム、ヨガ、勝手にダンス、瞑想などなど。海外の教育らしさを感じます。

そして企業とのパートナーシッププロジェクトも始まりました。多くの企業と協定がある中で、今回は 5 つの会社から選ぶことに。私は日本の大企業トヨタとのパートナーシップに配属されました。トヨタとは関係が良く、毎年のようにパートナーシップがあるようです。始まって驚いたことは、まず相手や先生のパワーポイントをよく深堀することです。岩崎先生 (suac) が軽く用いていたので知っていた、Miro というアプリがこちらでは主流で、対面・それぞれの課題で Miro を通してグループワークをしています。



そして興味深かったのが、愛車という概念についてです。仲が良いフランス人に大の車好きもいるので全員とは言いませんが、驚く程フランス人は車の扱いが雑です。

ガムテープ補修常習犯、どこかむき出し、ぶつけながら駐車。ざらにあります。My BELOVED Car…？彼らにとってはただの My Car。そこに愛があることが、当たり前ではないから難しいのだろう。カスタムなどしてなくとも日本人は愛車というだろうし車オタクでなくても自分の車は愛車と言うだろう。愛車ってなんだろう？私はこの一連がとても面白いと思いました。そして日本の良い一面を客観視した気がしました。

ちょうど月末より秋休み、vacationが始まりました。クラスメイトとそれぞれの国の料理を持ち寄って文化的な日を過ごす会がありました。私のクラスは、アルゼンチン、コロンビア、トルコ、フランス、インド、そして日本の6か国の人が集まっています。同じく交換留学生のアルゼンチン組は、今回はお休み。下宿中のフランス人達は実家に帰省をしていて、やはり家族と過ごす時間を大切にすることが素敵だと感じました。



ずっと「寿司をつくって！」と訴えられていたのもあり、日本組は寿司を用意しました！しかし生食でできる魚を入手するのは難しいのでスモークサーモンなどで代用。握りではなく、皆で食べられる手巻き寿司にすることにしました。SUSHI 人気すぎます…！

動画！動画！と海苔巻きをつくるのは撮影大会。寿司づくり体験もとても楽しそう。

日本から持参した日キッコーマンと生わさびを紹介しました。意外だったのは、玉子を入れることに驚いていたことです。料理はインドとコロンビアと日本とフランス。どの料理も本当に美味しい！ワインとトルコのコーヒーとチョコも楽しみながら、YouTubeのカラオケやマフィア（人狼のようなゲーム）を。楽しい一日を過ごせました。

翌日 31日は街へ出かけました。小さなお化け達が次々と店に入りお菓子をもらうなんて微笑ましい光景。日本はお菓子が季節限定に変わること秋を感じていましたが、こちらはショーウィンドウの装飾がどこもハロウィンに変わる様子で秋を感じました。ビーチに目を向けると泳ぐ人をまだ見つけられるので秋とは言い難いですが…笑 もう次はクリスマス。私は、あの街の煌びやかな雰囲気大好きなのでとても楽しみです！